

羽ばたけ通信27号

◎羽ばたけ鮎河自治振興会◎



▲4月1日より「鮎河コミュニティセンター」に変わります

『鮎河地域市民センター』が変わります

令和6年4月より『鮎河コミュニティセンター』に変わります
4月1日より「鮎河地域市民センター・公民館」が、「鮎河コミュニティセンター」と名称が変わり、管理体制も市職員のセンター長と地域マネージャーがなくなり、甲賀市シルバー人材センターから派遣される施設管理人1名(数名のローテーション)が午前8時30分から午後5時15分まで開館、閉館業務を行うため勤務されます。

夜間や休日等に使用される場合は、必ず事前に施設使用申請と鍵の借用を行い、施設管理人より許可を得てください。使用後は施設管理人・鍵の返却口へ返却をお願いいたします。

なお、地域で雇用することになる地域マネージャーについては、地域募集しましたが応募者がなく、決まり次第勤務していただく予定です。

▼甲賀市 市民活動推進課70-6032より

公民館(地域市民センター)がより使いやすく！ お知らせ コミュニティセンターへ変わります。

令和6年4月より、地域住民の相互交流、社会教育、地域共生、防災等の総合的な拠点として、名称がコミュニティセンターとなります。



問1. 何が変わるのですか。

(1) 証明書等の交付方法が変わります。

- 外出が困難な方を対象として、証明書の個別配送を開始します。
※配送には一定の日数を要しますので、ご了承ください。
- 「事務所(センター)発行」から「自宅への個別配送」に変わります。
※センターにおける証明書交付サービスは「終了」となります。
- 新たにオンライン申請を開始する予定です。



(2) 市税等の納付は口座振替をご利用ください。

- コンビニや郵便局、中核の地域市民センター(旧町役場)スマートフォン決済アプリによる納付をご利用ください。
- センターにおいて、納付書の取り扱いはなくなります。
- この機会に口座振替の手続きをお願いします。外出が困難な方はご自宅に訪問のうえ、手続きをお手伝いします。



(3) 施設利用の「ルール」が、より柔軟になります。

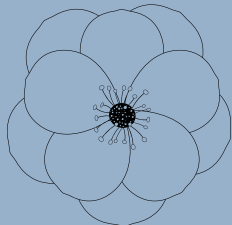
- これまでの公民館は、社会教育法による利用制限がありました。今後は、コミュニティ活動の拠点として、地域の特産品の販売や有料講座などを開催いただくことができます。



第27号の内容

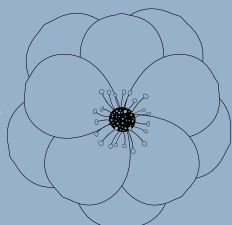
『鮎河地域市民センター』 が変わります

・令和6年4月1日より
『鮎河コミュニティセンター』
に変わります

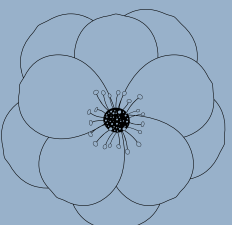


令和5年度の 自治振興会活動

- ・あんしん部会
- ・ホームページリニューアル
- ・いきいき部会
- ・きらめき部会
- ・みらい部会
- 鮎河地区PRロゴ



- 地域おこし協力隊
- 空き家・移住対策
- 鮎河&山内地区担当
- 坂本さん
- ・自己紹介





令和5年度の自治振興会活動



あんしん部会



～安心して暮らせる自然豊かな郷～

あんしん部会です。

令和5年度の事業といたしましては消火器具、設置整備事業で消火栓ホースを古いホースから順番に取り替え購入させていただきました。

自主防災整備事業については、今年度はワンタッチテントの購入をさせていただきました。

防災訓練は初期消火の重要性から自主防災隊、消防団とともに水消火器を使った訓練をさせていただきました。

防犯灯整備事業においては、今年度から防犯カメラの設置もあり、看板を購入させていただきました。慰霊祭についてもあんしん部会の事業であり8/20に執り行いました。

また、広報誌は今回と合わせて年2回配布を行いました。

安心部会といたしましては、地域の安心を皆様方にお届けできるよう、これからも従事してまいります。

～羽ばたけ鮎河自治振興会のホームページが新しくなりました!～

<http://>


今回、鮎河小学校同窓会の基金を活用させていただきまして、あんしん部会の事業である羽ばたけ鮎河自治振興会のホームページをリニューアルいたしました。

同窓会専用ページも自治振興会内のホームページ内に設けております。

また、羽ばたけ鮎河自治振興会における事業報告や活動報告、イベント情報、事業計画なども掲載していく予定でございますので、「羽ばたけ鮎河自治振興会」で検索していただき、当ホームページをご覧くださいませ。



▲防災備品「ワンタッチテント」



▲防災訓練



▲いきいき部会「青少年育成事業」



いきいき部会 ~心豊かな人が育ち生き生きと暮らせ郷~

土山宿散策とボッチャ交流会

毎年実施している「ふるさと探訪ウォーク」事業として、今年は3月3日（日）に土山宿本陣を中心として開催された「東海道士山宿 まちなかひな祭り」を訪れました。今年度改装された土山宿本陣や東海道伝馬館、扇屋伝承文化館などを散策し、好天の中楽しい時間を過ごしました。午後からは鮎河地域市民センターでの昼食後、みんなでボッチャを楽しみました。「ボッチャ」は年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツで、2025全国障害者スポーツ大会では甲賀市が会場となること決定しています。午後のひととき、小学生から高齢者までみんながこのゲームを楽しみました。

敬老事業

高齢者の方々の健康と長寿をお祝いするため、9月の敬老週間に敬老祝品を配布させていただくとともに、各地区ごとにサロンを主体とした敬老会を開催しました。コロナ感染リスクの軽減や高齢化等に伴う運営役員の担い手不足、またこれまで参加いただいていた敬老会対象者の方にとって、より身近で行きやすい地元集会所を会場として実施しましたが、食事をはさみながら、歌や寸劇、マジックショーなどいろんなアトラクションが企画され、各会場では参加者の笑い声があふれていました。

きらめき部会

~人、地球が煌めき、賑わいのある郷~



▲3月3日の土山ウォーク【土山ひな祭り】
～羽ばたけ通信 第27月号～ 羽ばたけ鮎河自治振興会

今年初めてで何もわかりませんでしたでしたが何とか1年が終わろうとしています。令和5年度の事業ですが、例年通りですが映画の上映を10月に開催しました。映画の内容が悪かったのかご参加いただいた方が少なかったのは残念でした。来年度は開催時間を変更するか、内容を見直して多数ご参加いただけるようかんがえたいです。後、3月3日にウォークラリーを開催しました。土山まであいくるバスで移動してその日に土山の振興会開催のイベントに併せてまた新しくなった本陣なども見学しました。終わった後でボッチャをみんなでやってこれも参加人数は少なかったけど中学生の方もご参加頂けて良かったと思います。来年度はどうするかまたどうしたらもっとたくさんの方に参加してもらえるか考えたいと思います。後、空き家対策など課題は山積みですが来年度も皆様の協力をお借りして鮎河をより良くするために自分なりに頑張りたいと思います。



みらい部会～未来まで住み続けたい、魅力ある郷～



今年度のみらい部会は市役所の政策「グランドデザイン」と農林水産省の「農村型地域運営組織（農村RMO）モデル形成支援事業」を活用し、農用地保全・地域資源活用・生活支援の3つのテーマの検討会を行いました。住民の皆様にはアンケートのご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。皆様のご意見を元にみらい部会では20年後も住み続けたい、魅力ある郷を目指し、地元PRの為に「鮎河米パックごはん」の試作や「鮎河地区PRロゴ」の作成と、「咲くや鮎河さくらまつり」の維持継続の取り組みとして「募金箱」「鮎河地域資源のPRのぼり」「パンフレット」「看板」の作成を行いました。

島根県よりえーひだカンパニー様に講師としてお越しいただき、農村型RMOの研修会を行いました。

また、デジタル活用は「ドローンの自動操縦見守りパトロール」「ドローンを活用した鮎河地区PR動画 秋・冬」を作成させていただきました。PR動画は自治振興会Instagramやホームページ、サロンの際にご覧いただけるような案を検討しております。来年度はアンケート結果と検討会を元に「Uターン促進」「地域資源である旧鮎河小学校でのイベント」や「鮎河地区をPRできる商品の検討」を計画しております。



▲鮎河地区PR「鮎河米パックごはん」

▲RMO研修会 講師：「えーひだカンパニー様」

▲株式会社EUREKA様より鮎河地区PR動画「冬」の抜粋

鮎河のPRロゴが完成いたしました。地球のイメージと鈴鹿の山々の輝く姿、桜、蛍に野洲川とうぐい川...また、先祖代々、鮎河地区の人々の命を繋いできた鮎河米、旧鮎河小学校の校章をいれてデザインしてもらいました。今の世代のことだけでなく、後世に良いものを引き継いでいき、これからの鮎河の子どもたちや若者たちの明るい未来を第一に考えていくことが鮎河地区の維持存続の大切な視点です。「ご先祖様の想いや子どもたちのキレイな瞳を見てこの地域を守りたい、善くした、残していきたい。」そんな鮎河地区住民の皆様の郷土愛に対する温かな想いをのせたデザインとなりました。PRロゴ作成のキッカケはパックごはんのラベルやお渡しする際の紙袋です。皆様のお気持ちを乗せた紙袋を見て、少しでも鮎河地区のPRになれば幸いです。（※紙袋はパックごはんと合わせ、1世帯に1つずつ各組長様からお渡しさせていただきます。）



▲鮎河地区のPRロゴデザイン

地域おこし協力隊とは？

2009年度から総務省が実施する制度。
1年～3年間、都市部から地方に移住した「協力隊員」が地方自治体の委嘱を受け、地域で生活し、地域の問題解決や活性化のための活動に携わります。

坂本のミッション内容！

移住定住・空き家活用プロジェクト
移住定住環境をPR、空き家の流通・活用促進
上記でも坂本のミッションは、空き家を活用したDIYイベントや施設運営などを通し、地域住民と連携した賑わいづくりなどを検討しています！

地域おこし協力隊 坂本さんご紹介

◎坂本さん自己紹介◎
去年の7月より甲賀市地域おこし協力隊として活動中
活動地域は土山地域（担当地域は鮎河・山内）
日本史が好きでゆかりのある滋賀県に移住を決意。
移住するなら地域と関わりを持てる仕事に就きたいと思い協力隊制度を応募いたしました。
空き家を活用し、体験型の宿泊施設の運営で地域貢献していくことが今回、私の協力隊での目標です。
今年度は担当地域の空き家と所有者の調査を行い、移住希望者に案内できる仕組みづくりを計画しております。
来年度より、Instagramを活用し、空き家の再生イベント等を開催する予定です◎皆様のご参加お待ちしております◎
よろしくお願いたします◎

新拠点が決まり次第ご報告いたします！